

# 来週の「売り物記事」はこれ



2019年11月29日号 毎日新聞東京本社 編集編成局・販促宣伝部

元文科官僚 寺脇研氏×前川喜平氏 対談

夕刊特集ワイド 2日(月)、3日(火)

ともに元文部科学官僚の寺脇研氏(67)と前川喜平氏(64)が共同企画し、今の少年少女たちを取り巻く貧困やいじめなどの実態を描いた映画「子どもたちをよろしく」(来年2月公開)が早くも話題を呼んでいます。文科相による「身の丈」発言に象徴される「大人社会」のゆがみが、子どもたちを追い詰めているのではないか。そんな思いを抱く2人に、毎日新聞の与良正男専門編集委員が、今の政治や教育の問題点について聞きます。



「ラグビー人気 どうつながるか」 日本ラグビー協会・森重隆会長

オピニオン面 3日(火)



ラグビーのワールドカップ(W杯)日本大会が閉幕して1カ月が過ぎました。初めて決勝トーナメントに進出した日本代表の活躍もあり「W杯ロス」を訴えるファンも多くみられます。高まったラグビー熱を将来にどうつなげていくのか。日本協会は新リーグ設立準備委員会を設置しました。森会長もプロ化に総論で賛成はしながらも、これまで日本ラグビーを支えてきたトップリーグのチームへの配慮も説いています。

なるほどリエコ 温暖化対策「COP25って？」

くらしナビ面 4日(水)

世界中の国が集まって地球温暖化対策について話し合う国際会議「国連気候変動枠組み条約第25回締約国会議(COP25)」が、スペインの首都マドリードで12月2日から始まります。温暖化の影響が指摘される気象災害などが相次ぐ中、13日まで行われる予定の会議で何が話し合われるのか。温暖化対策とCOPの歩みを振り返りながら、わかりやすく解説します。



がん大国白書「乳がん」

くらしナビ面 4日(水)から



一生涯のうち、女性の11人に1人が発症するとされる乳がん。シリーズ「がん大国白書——患者100万人時代に備える」で、20~30代の若い女性に多いことでも知られるこのがんについて計3回取り上げます。初回は、発症を未然に防ぐための乳房の予防切除や、早期発見につなげるための新しい生活習慣について紹介します。

## 論点 「東西冷戦終結宣言から30年」

オピニオン面 4日(水)

世界が資本主義陣営と共産主義陣営に別れ、両陣営に君臨する超大国だった米ソが覇権を争う「冷たい戦争」(冷戦)が終結してから30年を迎えます。ソ連崩壊で「一人勝ち」と思われた米国は、中国の台頭や中東などでの戦争疲れも重なり、内向きの姿勢を強めています。これからの国際秩序はどこに向かうのでしょうか。3人の識者に展望を伺います。

## シリーズ「老後の住まいとお金」

くらしナビ面 6日(金)から

サービス付き高齢者向け住宅、ケアハウス、特別養護老人ホームなど、一口に介護施設といっても多種多様で、それぞれに必要な費用や利用の仕方も大きく異なります。それぞれの施設の特徴を押さえるとともに、親のために施設を探す時、また自分自身が老後の住まいを選択する際に気をつけたいポイントを紹介します。



## 連載「所有者不明土地問題」

くらしナビ面 7日(土)から

相続の際に登録されないなどの理由で、所有者が分からなくなっている「所有者不明土地」が全国各地にあります。合計すると九州の面積を超えると推計され、過疎化や少子化に伴い、今後さらに増えるとみられています。管理が行き届かない土地は、災害時に崩落するなどの危険もあります。今年6月、所有者を探し、地域で利用しやすくする法律が施行されました。所有者不明土地の現場を訪ね、現状と課題を探ります。

## 風船爆弾を作った日々

Sストーリー 8日(日)



作家の高橋光子さん(91)はこの秋、初めての講演で「風船爆弾を作った日々」をテーマに中学生たちに語りました。風船爆弾は75年前の1944年11月から米国本土に向けて打ち上げられた秘密兵器です。和紙産地・愛媛の女学生だった高橋さんは「爆弾工場」と化した学校で仲間と働き続けました。「私たちがいる間に実相を残したい」。平和への願いを描きます。



※ 都合によっては掲載日や内容を変更することがあります。